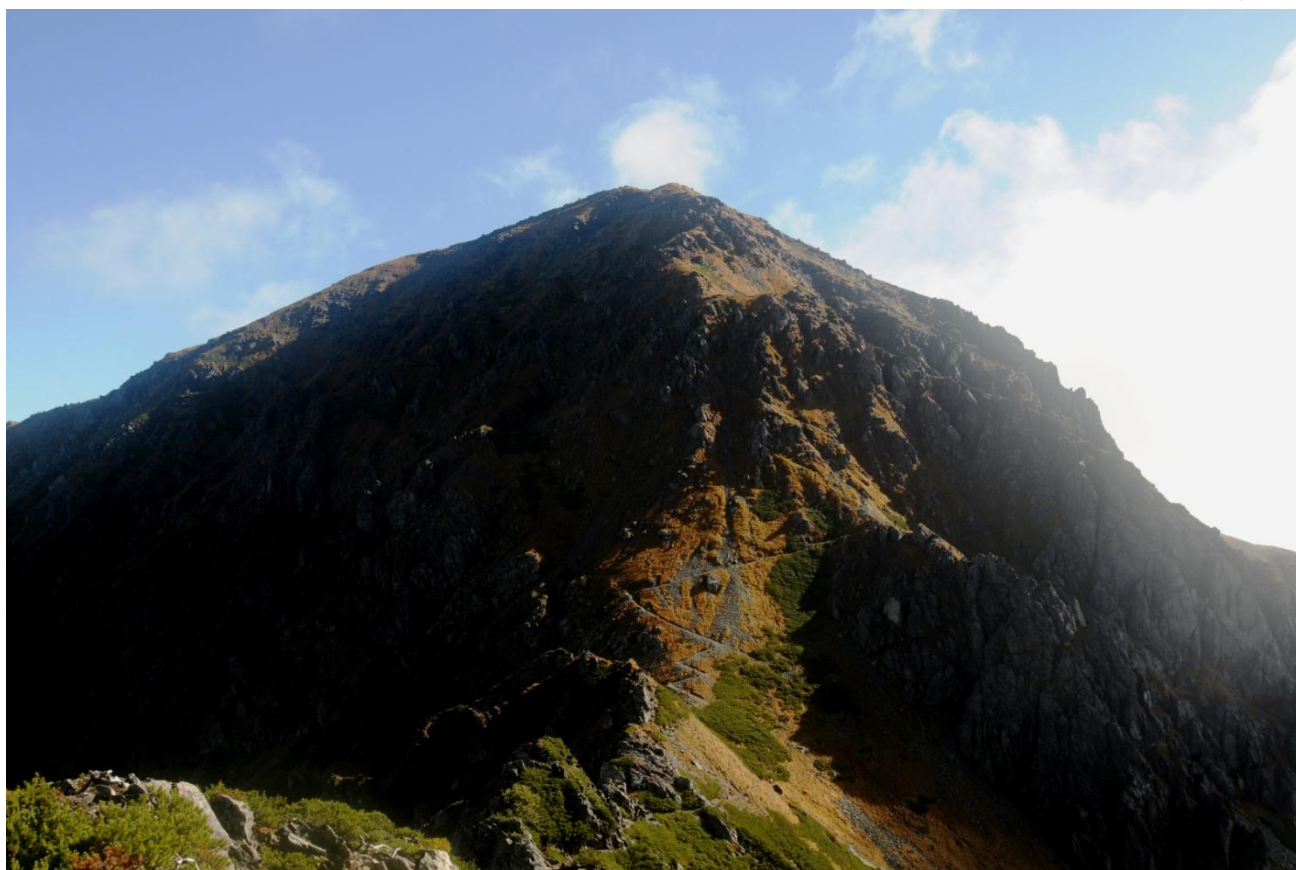


荒川三山・赤石岳山行記録

記 鳥切昇治



中岳側より荒川東岳(悪沢岳) 3141m

山 域:南アルプス 荒川三山・赤石岳

期 間:2012年10月 2日(火)～10月 5日(金)

メンバー:大和 義孝(75才) 鳥切 昇治(72才) 松井 清(69才)

10月2日(火)天候:晴 横浜～樺島

松井さんの車を鳥切宅に置き、大和さんをピックアップして東名の横浜・町田ICに向う。環状2号の保土ヶ谷バイパス入口で渋滞し、車がノロノロでしか動かない。保土ヶ谷バイパスに入っても同じで、しばらく渋滞が続く。そしたら何のことはない対向車線事故の見物渋滞だった。そこを通過してから流れ、東名に入る。

御殿場の先で開通して間もない新東名に入る。走り易く、トンネルが多いのにトンネル内の圧迫感が無い。話題になっているサービスエリアで休もうとしたら、駿河湾・沼津SAを過ぎてしまい下りる予定の新静岡ICまでサービスエリアが無い。残念。新静岡ICで下り、井川を目指す。新静岡ICを出て直ぐ道を間違える。コンビニで昼食の弁当を買ってから引き返す。県道189号は富士見峠が不通の為、カーナビを口坂本温泉にセットして県道27号を走る。道幅が狭くカーブも多い。ライトを付けて走るが、大型の対向車が来るともう大変。慎重に走る。口坂本温泉を通過し、大日峠を越えてから多少道幅が広くなり、井川ダムサイトまで下る。

畑薙第一ダム駐車場までようやく辿り着いた。この時期、東海フォレストの無料送迎バスは、8時、12時、15時の3便しか無い。12時までタツプリ時間があり、天気が良いので車の脇に座り込んで買ってきた弁当を食べる。車の音がするのでバスの発着場へ行くと送迎バスが来ていた。運転手が話好きで、発車時間まで話をしながら待つ。東海フォレストは樺島ロッジ(静岡市)や千枚小屋、荒川小屋、赤石小屋(静岡県)を委託され



畑薙第一ダムで送迎バスの発車を待つ

送迎バスは榎島まで小一時間走る。走りながら運転手が色々説明してくれる。榎島ロッジに着いて宿泊手続きをした後、部屋にザックを置いて明日の登山口を確認して来る。榎島の標高は、1120m。林道に架かる滝見橋手前の左手が登山口で、入ると滝があった。榎島には事務所、ロッジ、レストルーム、記念館(2階に白旗史朗の写真が展示)などがある。ポタージュスープの夕食を食べ、テレビで明日の天気を確認してから寝る。

コースタイム

(往路)鳥切宅 5:50～大和宅 6:00—6:40 横浜・町田IC—(東名高速)—新静岡IC 8:03—(コンビニ)—10:27 畑薙第一ダム駐車場 12:00—(送迎バス)—12:56 榎島(ロッジ泊)

10月3日(水)天候:曇 榎島～千枚小屋

朝食は6時だったが食堂に行ったら直ぐ食べることが出来た。お蔭で15分程早く出ることが出来た。登山口から川の右岸を少し行ってから吊橋を渡り、林



岩尾根を下る

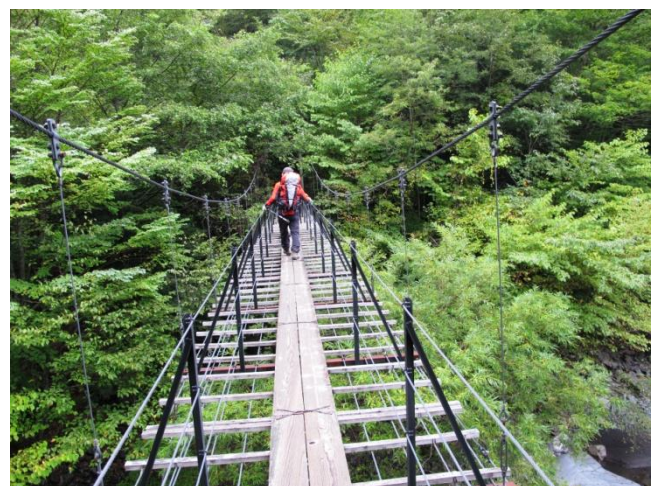
で運営している様だ。静岡県の南アルプス一帯の山林は、東海製紙の社有林になっていて、東海フォレストは東海製紙の関連会社のような。



榎島 標高:1120m



千枚小屋への入り口



長い吊橋を渡る

の中の急坂を登る。急坂を登り切ると鉄塔の所に出た。一休みしてから岩尾根を下って行くと林道に出た。林道は地図を見ると尾根筋を絡むように千枚小

屋付近まで行って、明治40年頃から伐採に使われたと思われる。小石下の道標を過ぎ緩やかに登って行くと再び林道に出て、林道に沿って歩く。

清水平に着いた。湧き水が出ていて、冷たくて美味しかった。昔から林業作業者のオアシスだったようだ。オオシラビソ林を緩やかに登って行く。蕨段で休む。この付近に蕨があったのか？曇り空で見晴台から悪沢岳は見えなかった。右手に駒鳥池が見えた。小さな池だったが水はきれいだった。



火事で焼け、建て替えられた千枚小屋

千枚小屋は火事で焼け、建て替えられて今シーズンからオープンしたそうだ。細長い部屋の両側に薄べりを敷いた二段の寝る所があり、寝具は寝袋。砂利敷きの土間にスノコが敷かれている。トイレと水場は外。今夜の宿泊者は8人の様でゆったりと休める。明日は赤石小屋まで行く予定なので早立ちする。朝食は弁当にしてもらった。テレビで天気予報を見てから休む。

コースタイム

榎島ロッジ 6:20—(7:00~7:05)—7:36 鉄塔 7:40—8:09 林道—8:30 小石下 8:40—9:00 林道—(9:30~9:40)—9:52 清水平 9:55—10:30 蕨段 10:40—見晴台 10:51—(11:30~11:43)—12:02 駒鳥池—(12:27~12:40)—12:50 千枚小屋(小屋泊)

10月4日(木) 天候:雨・曇後晴・ガス 千枚小屋~千枚岳~悪沢岳~荒川小屋~赤石岳~赤石小屋

昨夜、寝ながら風と雨の音を聞いていた。起きた時はまだ止んでいなかった。ガスも垂れ込めている。食堂



千枚岳山頂 標高:2880m



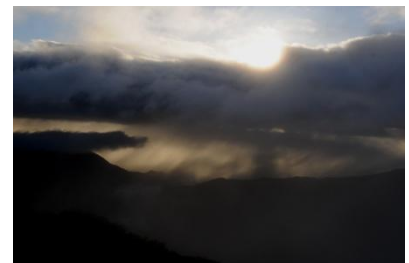
駒鳥池はこの標識の奥にある

荷揚げケーブルを過ぎてから左の方へ曲りトラバースするように登って行くと、真新しい千枚小屋に着いた。正面に富士山が見えたが直ぐにガスで見えなくなっ



千枚小屋入口

でお湯を沸かし、弁当を食べながら様子を見る。外が明るくなり雨も上がったので、予定を1時間程遅れたが千枚小屋を出発した。



千枚岳で日の出を迎えた

千枚岳に着くと間もなく雲の上に日の出を迎えた。雨具を脱ぐ。ブロッケン現象が起こりカメラに収める。青空が広がって来たが、時折ガスに覆われる。丸山



ブロッケン現象



荒川東岳(悪沢岳)山頂で

を撮ってから中岳に向う。中岳のコルまで200m程一気に下る。コルで鹿の食害調査をしていた。中岳山頂手前に立派な避難小屋が建っていた。

中岳と前岳の山頂を踏み荒川小屋へ下る。ガスで視界が悪くなり、鹿の食害防止用ネットの所で10分程道探しを行う。ガスが晴れて、間違っていなかったことを確認し、食害



悪沢岳から赤石岳 標高:3120m

との間でピークの下りが2ヶ所悪い所があった。登山道脇に雷鳥の親子を見かけた。丸山の斜面には所々草モミジの赤いじゅうたんが敷かれていてきれいだった。丸山を過ぎると



雷鳥がお出迎え



岩が積み重なった岩稜の奥に悪沢岳 岩が積み重なった岩稜の道が悪沢岳まで続く。荒川東岳(悪沢岳)の山頂に着いた。山頂から赤石岳の眺望は素晴らしい。写真



中岳避難小屋

防止用ネットの扉を何回かくぐって下る。荒川小屋が見えてからもなかなか着かない。荒川小屋周辺の紅葉が見頃で、眺めながら下る。荒川小屋の少し上で



荒川小屋周辺の紅葉

マツムシソウが一杯咲いていた。荒川小屋に着いて、大和さんの調子がおもわしくないので、ここに泊るか赤石小

屋まで行くか迷う。二人と相談し赤石小屋まで行くことに決めた。荒川小屋の管理人に到着が遅くなる事を赤石小屋へ連絡して頂くよう依頼して出発した。



大聖寺平から小赤石岳へ登る



ナナカマドの紅葉の中を小赤石岳へ向う

順調に小赤石岳まで登る。大和さんも大丈夫とのことでザックを分岐に置いて赤石岳に向う。赤石岳山頂ではガスで眺望が悪かったが、相前後して千枚小屋から縦走してきた人に写真を撮ってもらい、分岐まで引



赤石岳山頂(3120m)と避難小屋



赤石岳山頂で

き返す。行動食を食べてから下りにかかる。急なザレた道を慎重に下る。可なり下ってからダケカンバ林に入る。ダケカンバの黄葉の中をトラバースして行く。パイプ足場を組んで道にしてある箇所を何度か渡る。疲れ



紅葉の中を下る二人



黄葉のダケカンバ林の中をトラバース

ているので気を付けて歩く。富士見平に着くと荒川三山が夕日に照らされて素晴らしい。

富士見平から赤石小屋へはダラダラした下りが続く。明るい内に何とか無事赤石小屋に到着した。体調不良の大和さん、良く歩きました。お疲れ様でした。夕食時間を30分ずらして食べ、石油ストーブがある食堂

で暖まりながら小屋の人などと談笑する。今夜の宿泊者は20名程で樫島から登って来た人や荒川小屋・赤石小屋からの人がプラスされた感じだ。夜中、満天の星で強風が吹いていた。



夕日が当たる荒川三山(富士見平から)

コースタイム

千枚小屋 5:20—6:06 千枚岳 6:23—7:11 丸山—(7:20~7:30)—8:00 東岳(悪沢岳) 8:10—8:38 コル—9:25 中岳 9:42—9:52 前岳 9:55—9:59 分岐 10:00—11:03 荒川小屋 11:33—12:07 大聖寺平—(12:20~12:30)—13:38 小赤石岳 13:48—分岐 14:00—14:20 赤石岳 14:30—14:45 分岐 14:55—16:55 富士見平 16:59—17:29 赤石小屋(小屋泊)

10月5日(金)天候:晴 赤石小屋～樫島～帰宅

昨夜は強風の音で時々目が覚めた。朝起きて外のトイレに行く時、雲一つない空に驚いた。10:30の送迎バスに乗るべく、朝食後直ぐ出発する。しばらく樹林の



赤石小屋

中を下っていると樹間に太陽の光が射し込んできた。脅かされていた急な道ではなく歩き易い道であ



樹間に太陽の光が射し込む

る。大和さんはようやく本来の歩きに戻っている。樺段から下は急坂になるがジグザグになっていて歩き易い。林道が見えて来て階段を下り、榎島入口の林道に出た。榎島のレストハウスでコーヒーを飲みながら送迎バスを待つ。



榎島のレストハウス前で

泉・白樺荘に寄り汗を流す。透明で弱アルカリ性の温泉で肌がすべすべする。



駿河湾・沼津SA

コースタイム

赤石小屋 5:30—7:21 樺段 7:30—8:41 榎島登山口—8:53 榎島

(復路) 榎島 10:30—(送迎バス)—11:25 畑薙第一ダム駐車場 11:35—11:45 白樺荘 12:20—14:40 新静岡IC—(東名高速)—14:55 駿河湾・沼津SA 15:30—16:40 横浜・町田IC—17:13 大和宅—17:22 鳥切宅



榎島登山口の林道に出た

送迎バスの運転手は、往路と同じ人で走りながらガイドをしてくれる。

この付近の紅葉は10月下旬頃で見事な紅葉が見られるそうだ。送迎バスも運行しているとのこと。

畑薙第一ダム駐車場からしばらく走り畑薙第二ダム湖畔わきにある赤石温泉



登山口案内図

帰路は新東名まで往路の道を走る。帰りは道が分っているので楽で順調に新静岡ICに入った。途中、往路で寄り損ねた駿河湾・沼津SAに寄る。従来のサービスエリアとは建物や雰囲気が違う。昼食をとった後それぞれ買物をする。大和トンネル付近でスローダウンしたが渋滞することなく横浜・町田ICを出た。帰宅ラッシュ前だったので順調に自宅に帰着した。

以上